Vol.60

# まるとみ新聞

newspaper
'18 Jun.

発行所
北九州市若松区本町1-1-33
丸富産業（若松区役所前）
TEL093-751-1081

すまい de スマイル
30年6月号

## 住まいの雑学 TRIVIA

## 漆（うるし）の歴史

### 漆文化の鍵は日本の気候

漆といえば食器や箸、お盆などの漆器を思い浮かべますが、日本では古くから日用品以外に調度品や建築物の塗料としても使われていました。現在も神社仏閣等の内装や外装を修復するのに漆は欠かすことができません。

漆はおもにウルシノキの樹液を採取して加工した天然樹脂塗料ですが、漆が乾くしくみは水分が蒸発して固まる乾燥とは違い、空気中の水分から酸素を取り込むことで固体に変わる酸化反応。梅雨時期がもっとも「乾燥」に適していると言いますから、高温多湿の日本で広く利用されてきたのもうなずけます。

漆は英語で「Japan」。まさに日本を代表する工芸品なんだね。

### 漆はすぐれた天然塗料

完全に固化した漆の塗膜はガラスと同等の硬度をもち、キズに強いのが特徴。また熱や酸、アルカリ、塩分、アルコールにも強く、耐水性、抗菌性、防腐性、防虫性を備えているため、人が口をつける食器や箸から建築物にいたる幅広い用途に使われてきたのです。

さらに漆は接着剤としてもすぐれており、漆の表面に金粉や銀粉を蒔いて模様を描く蒔絵や、薄く切った貝殻を張る螺鈿（らでん）などの細工、陶磁器を修復する金継ぎなどに利用されています。

### 縄文人も使ってた漆

漆の歴史は古く、およそ9000年前の縄文遺跡からも漆を使った装飾品が発掘されています。もちろんこれは世界最古。弥生時代には武器類、古墳時代には棺に漆が塗られ、平安時代には宮廷内で日常的に漆器が使われていたようです。

日本に漆という強靭な塗料があったからこそ、数千年前の木製品の形が残り、繊細な細工や文様が保存されてきたともいえそうです。

### 強靭だけど紫外線は苦手

漆が多くの工芸品や文化財に使われるのは保存のためだけでなく、艶のあるあの美しさにあります。

実をいうと漆は紫外線にはあまり強くありません。長い年月で建物の門や外壁に塗られた漆は色あせたり劣化して剥がれたりしますので、定期的に塗り替えたり塗り重ねたりしているのです。

木製品を長く保存し、芸術品に高めてくれる漆文化をこれからも大切に守りたいものです。

## トコロ変われば

### 賃貸住宅、入居できるのは10年後？■スウェーデン

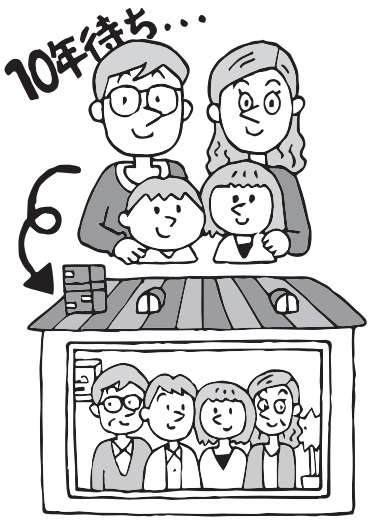
入居してすぐ転勤なんていわれたら本気で泣いちゃいそう。

北欧スウェーデンでは、賃貸住宅に家賃規制がかけられており、大都市の中心部でもワンルームが5万円前後で借りられるといいます。それは住みやすそうだと思うなかれ、入居希望者に対して物件数がまったく足りておらず、入居は常に順番待ち状態。どれくらい待つかというと、都市部で10年から20年というから驚きです。

というのもスウェーデンで家を借りたい人はまず賃貸住宅の斡旋サービスに登録し、その日からの「待ち日数」が一番長い人が入居できるというポイント制になっているから。子どもが産まれてすぐに親が登録することもあるといいます。

物件数を増やせばいいと思うかもしれませんが、安い家賃では建築コストが見合わず、民間業者は都市部に賃貸住宅をつくりたがりません。

困るのが大学の入学シーズン。学校が用意している部屋に入れる可能性もありますが、見つからなかった人は①郊外から通う②友人の部屋のソファを借りる③ホテルに泊まる④学校がテントを用意⑤ホームレス、とかなり深刻な問題になっているようです。




## これって建築用語

### ■縁を切る

ある人との関係を断つときに「縁を切る」と言うことがあります。建築用語で縁を切るといえば、二つの部材や建物が互いに影響を与え合わないように部材同士を離したり、間に緩衝材を挟んだりすること。部材によってかかる力や伸縮のしかたが違うので、あらかじめ両者のあいだにスリットを設けたり、釘で固定せず細い部材で押さえたりして遊びの部分を設け、将来のずれや跳ね上がりに備えるというわけです。

また配水管などは床に接していると振動が伝わってしまうため、スポンジのような絶縁材を挟みます。建築では時として縁を切ることがとても重要なのです。

建築にかかせない技術とはいえ、面と向かっていわれるとドキッとしそう。

## ちがいはナニ？

### 顔料と染料

ボールペンやプリンターのインクの種類に、顔料インクと染料インクがあります。顔料も染料も元はどちらも色のついた粉末なのですが、水や油（溶剤）に溶けないものを顔料、溶けるものを染料と呼んでいます。

顔料は紙や壁などの表面を覆うように着色するもので、色をはっきり鮮やかに表現することが可能。耐久性、耐光性にもすぐれているため印刷インキや塗料のほとんどは顔料です。2万年以上前、古代人が洞窟に描いた壁画もこの顔料。色のついた土や鉱物、植物などを燃やし、灰を水や動物の脂と混ぜたものが原形とされており、それを占いや儀式のため顔などに塗ったため「顔料」と呼ばれるようになったといわれています。

一方染料は繊維などをムラなく自然な風合いに着色できますが、顔料に比べると着色面がにじみやすく、色あせや変色しやすいのが特徴。誕生は紀元前1500年頃といわれ、貝の身からとれる液体を染料として使う技術が発達したようです。

なるほど、顔料に塗る化粧品だったから顔料って呼ばれたわけか。

## 新顔野菜

### 「スティックセニョール」

アスパラガスのような細長い茎にブロッコリーの房を合わせたような野菜がスティックセニョール。中国野菜のカイランとブロッコリーの交配種で、もともとは国産野菜でしたが、日本で人気が出なかったためアメリカに輸出。ブロッコリーと同じ栄養価なのに見た目がおしゃれと思ったのかアメリカで大人気となって逆輸入されたようです。

茎と房を切り分けて茎をアスパラのように、房をブロッコリーのように使うこともできます。ブロッコリーよりもクセが少なくやわらかいのでとても使いやすい新顔野菜です。

## すまいるライフ

おしえて仙人！

## 毎年6月に開催されてます「あじさい祭り」です。